

鹿島平和研究所 2017 年度研究会  
「テクノロジー」によるヘルスリテラシー向上で健康寿命を延ばす

- テーマ: 「テクノロジー」によるヘルスリテラシー向上で健康寿命を延ばす～医療の質・アクセス・コストの最適な均衡～
- 主宰: 一般財団法人 鹿島平和研究所
- 主査: 小林創、鹿島平和研究所理事、ジェミニストラテジーグループ株式会社パートナー
- メンバ:
  - 小黒一正 鹿島平和研究所理事、法政大学経済学部教授
  - 亀井善太郎 PHP 総研主席研究員、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科特任教授
  - 鈴木英介 株式会社メディカル・インサイト代表取締役
- 活動スケジュール:
  - 期間: 2017 年 7 月～2018 年 3 月(延長の可能性あり)
  - 研究会会合開催実績: 第 1 回会合(2017 年 7 月 31 日)、第 2 回会合(2017 年 9 月 20 日)、第 3 回は 11 月 1 日に外部識者へのヒアリングを兼ね開催予定
- 成果物:
  - 事業戦略仮説(3 点)・・・対象課題(顕在/潜在ニーズ)、顧客セグメント、事業モデル、収益インパクト
  - 事業戦略遂行を促す政策に関する示唆
  - 報告書および DVD の作成、ならびに成果報告会での発表を行なう
- 背景:
  - 深刻化する本邦の医療・介護問題(制御不能の需要と財政負担増)に対する解決策立案・提言が喫緊
  - 台頭・進化・浸透する「テクノロジー」が社会を抜本的に変えるポテンシャルを有する
  - 既存プレイヤー(メーカー、サービスプロバイダ)には能力的また構造的に限界がある
- 目的:
  - 具体的な事業構想とそのインパクト極大化を促す政策を立案し、提言する
  - 主体を行政ではなく民間事業者に置くことで従前の提言と一線を画する
- アプローチ:
  - メンバの知見に基づくディカッションにより仮説構築・進化(定例会合)、とりまとめ
  - 外部識者へのインタビュー/定例会合に招いてのディスカッションにより仮説構築・進化
  - 原則として公開データの収集・分析による課題・施策インパクト定量化